

## 日月会 プレ・フォロ 第9回 議事録

### 執行部会と合同会議

日時 2011.04.23(Sat.)	時間 13:00-15:00	場所 武蔵野美術大学新宿サテライト	記録 吉村和美
出席者(敬称略・順不同) プレ・フォロメンバー：真壁、須藤、山本、佐奈、寺田、吉村 執行部メンバー：更田、朝比奈、小池、小倉、富重、内海、上田、岩岡、黒田、尾内、雨川、岩下、井上、			
陪席：木岡、野田			
配布資料 プレ・フォロ第9回 議案書(事前プレ・フォロメンバーリングリストにて)			

議事録	備考
<p>1. プレ・フォロ未定メンバーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩淵ゼミ：小島さんに替わるメンバーを選定する必要がある。</li> <li>・ 立花ゼミ：大西さんを含め引続き選定の情報を得るものとする。</li> <li>・ 源ゼミ：22期の向田良文さんに了解をいただいた。</li> <li>・ 宮下ゼミ：未定（候補者があったが連絡なし）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩淵ゼミメンバーは7期の山本さんからどなたかに打診していただく。</li> <li>・ 立花ゼミメンバーは26期の石川幸さんに一度プレ・フォロに参加した上で決めていただく。</li> </ul>

<p>2. 連絡網整備の報告と今後の展望</p> <p>新たな各期の名簿を収集(第1回目の締切:20100921)してきたことについて</p> <p>1) 名簿収集報告(会長報告:学部卒名簿 2010.11.1現在)</p> <p>収集できた期:2,4,16,17,18,20,21,23,24,25,26,27,28, 31,32,33,34,36,40 以上19期</p> <p>ただし、上記のうち校友会への情報アップならびに日月会メールマガジンへの可否の確認ができていない期が2,4,17期</p> <p>2) 5期から15期にかけての情報収集が進んでいない。特にこの期については幹事さんへの呼びかけを進めていく必要がある。</p> <p>3) 2011.03.01発行の会報「Forma-Foro vol.11」の戻りが現在120部程度ある。昨年に比べて増加している。</p>	<p>・5~15期のプレ・フォロ連絡担当者の須藤さん、佐奈さんにメンバー全員が協力して整備していく。</p>
--	--

<p>執行部で原因を追跡調査してもらうとともに、プレ・フォロでも連絡網の整備を行っていくものとする。</p>	
<p><b>3. プレ・フォロを会則に定義する件</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 更田提案の会則・規則改訂案 による</li> <li>1) 更田会長から再度会則・規則の改訂案が示された。これをメンバー各自が検討して、次回プレ・フォロで審議し、今年度末の総会にて承認するものとする。</li> </ul>	
<p><b>4. 「復興フォロ」の立上げについて</b></p> <p>前回の会合(3/26)で提案された、日月会における東日本大震災への支援活動の拠点となるフォロの発足について話し合われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 代表者(部長)の選出について <ul style="list-style-type: none"> <li>16期 野田龍太郎さんには、当面フォロの窓口になってもらいながら、回を重ねる中で正式に代表者を決めることとする。</li> </ul> </li> <li>2) 発足趣旨・活動計画の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動内容2)のサテライトについては、岩手・宮城・福島の他に茨城・千葉の設置も検討すべきである。</li> <li>・ 活動内容3)の情報収集については、サテライトなど現地の情報を収集する中で、あくまで現地の声に応えるために集約していくべきではないか？ 日月会が何ができるのかを見極めて情報収集していく必要がある。</li> <li>・ 日月会として、被災者支援か、復興か、復興活動支援かなどをハッキリさせ、活動の限界を見極めながら活動の方向性や情報収集を集約していくべきである。</li> <li>・ 活動報告をしながら、校友会とも活動の連携をはかるべき。</li> </ul> </li> </ul>	

<p>上記の審議を経て、復興フォロ発足が承認された。</p> <p>またその後の協議にて、名称を「311サポート・フォロ」とすることになった。</p>	
---	--

<p><b>5. 「歴フォロ」の立上げについて</b></p> <p>前回の会合(3/26)で15期の木岡氏から提案された、日月会会員による歴史建築を研鑽していくためのフォロの発足について話し合われた。</p> <p>1) 発足者である木岡敬雄さんから、再度発足趣旨と活動内容の説明を受けた。</p> <p>それに対して、2期の真壁さんから下記の意見が述べられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ このフォロにおいては、歴史建築という視点に限らず価値のある建築や環境にも視点を向けた方がいいのではないか？</li> <li>・ トータルの「文化」という視点におけるいろいろなものを研鑽していくというフォロのあり方でよいと思う。</li> <li>・ 名称にも「文化」を取り入れてほしい。</li> </ul> <p>この意見に対して、プレ・フォロメンバーから異議を唱えられることもなく、木岡さんも同意された。</p> <p>真壁さんからの意見を取り入れた発足趣旨を木岡さんに再度まとめてもらい、執行部会に提出してもらうことで、当フォロの発足を承認することとする。</p>	<p>その後5月12日に木岡氏から発足趣旨が再度会長に提出され、5月21日の執行部会で承認された。(会長より報告)</p>
--	---

<p><b>6. その他、執行部に求めることなど</b></p> <p>1) 執行部会で、新規の二つのフォロの発足が承認された場合、その設立に協力いただきたい。プレ・フォロもできる限り新フォロの活動をバックアップしていきたい。</p>	
---	--